

# 県内経済の動き

## 概況

〔2019年12月～2020年2月の動き〕

### 個人消費関連項目の指標に一部改善がみられるも、生産面は弱含み

鉱工業生産指数（12月）は3カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（1月 細島港）は2カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は4カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）、は5カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（1月）は2カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は5カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（1月）は前月比0.04ポイント低下し1.34倍となった。2月の企業倒産は前月比2件増の6件、負債額は前月比1億20百万円増の2億67百万円となった。

個人消費関連項目の指標に一部改善がみられるものの、生産面の指標は弱含んで推移。2月に入り新型コロナウイルスの影響が顕在化しつつあり、本県経済の停滞も懸念される。